



新年あけましておめでとうございます。



本年も柞田っ子の健やかな成長をめざして、教職員一同、本気全開で教育活動に取り組みたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

3学期が始まりました。新学期の始まりは、だれにとっても期待と不安が入り交じるものですが、一方で、物事に挑戦する意欲を高めてくれます。それだけに今学期、どのような自分でありたいか、そのためにどのような事に取り組むべきかを、自分自身でしっかりと意識することが大切です。

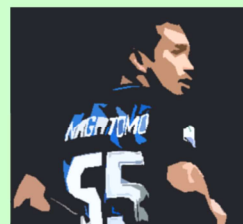
人間は、目標があることで努力をし、努力したことで成果を期待するものです。目標を持たずに漠然（ばくぜん）と日々を過ごしているだけではやる気も高まりません。2学期の終業式の式辞の中で、子どもたちには新しい年を迎えるに当たり、目標を立ててくださいと話をしました。自分で立てた目標に向かって努力したことや、あきらめずに取り組んだという満足感は、目に見える結果以上に本人にとってやりがいをもたらす、自信を持つことにつながります。2021年、子どもたちがどのように成長していくのか、今から楽しみです。

学校においては、子どもたちが充実した毎日を過ごすことができるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組みたいと考えておりますので、保護者の皆様におかれましても、お子様へのエールをどうぞよろしくお願い致します。

努力を続ける才能はだれにも負けたくない（長友佑都さん：プロサッカー選手）

長友佑都さんは、世界レベルのリーグで活躍しているサッカー選手です。彼は、身長が約170センチメートル、体重が約65キロで、プロの中では本当に小さな選手です。

その小さな長友選手はいったいどのようにして、世界トップレベルの選手になれたのでしょうか。それは、けっして平たんな道ではなかったようです。大学時代、サッカー部に入学して間もなく病気などをしてしまい、試合にはまったく出られず、スタンドで応援する日々が続きました。そのとき、彼はサッカーができない、試合に出られないことからストレスがたまり、やる気を失ってしまっていたそうです。そんな長友選手を、家族や仲間が救ってくれました。彼の家族や仲間は、やる気を失っていた長友選手を叱（しか）ったり励（はげ）ましたりしてくれたそうです。それをきっかけに、彼はもう一度がんばろうと心に決め、その後、彼は立ち直り、Jリーグでプロデビューをし、さらにイタリア、トルコ、フランスと世界中で素晴らしい活躍をしているのです。その長友選手が次のように言っています。



「僕にはサッカーの才能はないが、努力を続ける才能はだれにも負けたくない。」この言葉から、彼は壁を乗り越えるために、そして壁を乗り越えた後も、毎日毎日すごい努力を積み重ねて、今の素晴らしい活躍につながっていることが分かります。

私たちは、「努力」という言葉をよく使います。努力が実って結果が出ることもあれば、結果につながらないこともあります。みんな人間ですから、上手くいくときとそうでないときがあります。しかし、長友選手のような超一流の選手であっても日々努力を続けているのです。子どもたちにも、目標に向かってあきらめずに努力することで、「努力を続ける才能」を身に付けてほしいと考えています。

合唱部が優秀賞を受賞！

12月26日（土）、MBS子ども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会がオンラインで行われ、先日合唱部がハイスタッフホールで録画・録音した動画がYOUTUBE上で配信されました。小学校合唱部門では、本校を含め選抜された14校が出場しており、審査の結果、優秀賞をいただきました。新型コロナの影響で活動が制限される中、子どもたちは本当によくがんばりました。おめでとうございます。

防災倉庫の設置について

万一、地域が風水害や地震の被害などを受けたとき、本校の体育館が、緊急避難場所や避難所に指定されていることは天王丘の第18号でお知らせしたとおりです。

このたび、各種の防災グッズを収納する大きな防災倉庫を飼育小屋のあった場所に設置することになり、冬期休業中に飼育小屋を撤去したことを報告いたします。